

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 11 日(2025.4.11)

【公開番号】特開 2023-154427(P2023-154427A)
【公開日】令和 5 年 10 月 19 日(2023.10.19)
【年通号数】公開公報(特許)2023-197
【出願番号】特願 2023-118118(P2023-118118)
【国際特許分類】

C 0 8 L 27/12(2006.01)

10

C 0 8 J 3/24(2006.01)

【F I】

C 0 8 L 27/12

C 0 8 J 3/24

Z C E W

C 0 8 J 3/24

A

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 3 日(2025.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パーフルオロエラストマーおよびポリテトラフルオロエチレンを含有する組成物を製造するための製造方法であって、

前記パーフルオロエラストマーを含有する水性分散液と前記ポリテトラフルオロエチレンを含有する水性分散液とを 10 ~ 60 で混合することにより、前記パーフルオロエラストマーおよび前記ポリテトラフルオロエチレンを含有する水性分散液を調製し、

30

得られた前記水性分散液中の前記パーフルオロエラストマーおよび前記ポリテトラフルオロエチレンを共凝析させることにより、

前記パーフルオロエラストマーおよび前記ポリテトラフルオロエチレンを含有する組成物を製造する製造方法。

【請求項 2】

得られた前記水性分散液と凝析剤とを混合することにより、前記水性分散液中の前記パーフルオロエラストマーおよび前記ポリテトラフルオロエチレンを共凝析させる請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 3】

前記水性分散液と前記凝析剤とを混合する際の温度が、10 ~ 60 である請求項 2 に記載の製造方法。

40

【請求項 4】

前記凝析剤が、酸である請求項 2 に記載の製造方法。

【請求項 5】

前記ポリテトラフルオロエチレンの融点が、322 以上である請求項 1 または 2 に記載の製造方法。

【請求項 6】

前記ポリテトラフルオロエチレンの溶融粘度が、 $1.0 \times 10^3 \sim 7.0 \times 10^6$ ポアズである請求項 1 または 2 に記載の製造方法。

【請求項 7】

50

前記組成物中の前記ポリテトラフルオロエチレンの含有量が、前記パーフルオロエラストマー 100 質量部に対して、1～100 質量部である請求項 1 または 2 に記載の製造方法。

【請求項 8】

請求項 1 または 2 に記載の製造方法を用いて前記組成物を製造した後、前記組成物を架橋することにより、架橋物を得る架橋物の製造方法。

10

20

30

40

50